

新型コロナウイルス感染症対策に関する

千歳市 山口市長からの事業者向けメッセージ

(令和2年6月1日 発言文)

こんにちは、市長の山口です。

事業者の皆さんにお願いをいたします。

今日(6月1日)から、外出の自粛や、スナック・バー・カラオケ店を含むすべての業種に対する休業要請が解除されました。

これまで休業していた事業者の皆さんは、事業活動を徐々に再開していくこととなりますが、新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。これからは、感染防止に努めながら、事業の再開を期していただきたいと、このように思います。

そのために、北海道が提唱している、新しい生活様式「新北海道スタイル」を実践していただきたいと思います。

小売業や外食業など、業界団体が作成した業種別のガイドラインを参考にして、その徹底をお願いします。

ステップ1としては、6月1日から6月18日までは、慎重に対応することが求められております。接客を伴う飲食店やライブハウスなど、ガイド

ラインが策定されていない業種については、類似のガイドラインを参考に感染防止に努めていただくとともに、慎重な対応をお願いしたいと思います。

また、新型コロナウイルスとの戦いは長期化することが予想されます。皆さんには、「北海道スタイル」を実践していただき、北海道全体での感染リスクを低減させていくとともに、各個別店舗で工夫しながら事業の継続や新たなビジネスチャンスにつなげていただきたいと思います。

「北海道スタイル」を実践するためのポイントです。7つのポイントを励行していただくことをお願いします。

1点目は、スタッフの皆さんのマスク着用やこまめな手洗いであります。

2点目は、スタッフの皆さんの健康管理をお願いします。

3点目は、施設内の定期的な換気をお勧めいたします。

4点目は、設備や器具などの定期的な消毒や洗浄をお願いします。

5点目は、「一定の距離の確保」や「間仕切りの活用」などにより、人と人の接触機会を減らすような工夫をしてください。

6点目は、お客様にも「咳エチケット」、また、「手洗い」の呼びかけをお願いします。

そして、7点目は、お店の取り組みについて、来店される皆さんにお知らせいただくことを、積極的に進めていただきたいと思います。

7つのポイントを励行していただいて、感染拡大と事業継続を進めていただくようお願いいたします。

こちらは、北海道が作成している「北海道スタイル」安心宣言の例です。このように、スタッフやお客様に対し、「見える化」することで、感染リスクの低減と安心につながるものと考えています。

ぜひ活用してください。

最後に、「事業者緊急給付金」これは、市独自の経済支援です。この受付状況についてお知らせします。

5月末現在で、1,015件の申請を受け付けており、そのうち、処理を完了した件数は、872件、86.0%の進捗、そして、振り込みを完了した件数は、774件、76.3%の進捗状況となっています。

給付金は、申請を受け付けてから書類の確認を行いますので、支給までには、おおむね10日ほどの時間を要していますので、ぜひ、ご理解をいただきたいと思います。

皆さん、困難に負けないように、元気に企業活動続けていきましょう。

ありがとうございました。